

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
文書表現技術ⅡA	社会人としての日本語力を身につけるA	新島 尚子	1年次前期
講義の目的	本講義は、社会人として必要な日本語の使い方や、基本的な知識を身につけることを目的とする。知識だけでなく、言葉の正確な使い方や読解力を身につけ、日常生活において言葉に対する関心を持ち、積極的に学ぶ姿勢を養う。		
到達目標	日本語力向上による総合的な学力、考える力、文章力、対話力の充実を目指す。さらに後期における文部科学省後援の日本語母語者を対象とした『日本語検定』該当級合格を目標とする。		
講義内容	『敬語』『文法』『語彙』『言葉の意味』『表記』『漢字』の6領域を中心に進める。理論説明から問題演習を通じ理解を深めていく。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション：講義の目標、内容、進め方、評価方法等について説明 クラス分けテスト：レベル別にⅠクラス、Ⅱクラスに分け、習熟度を高める	
	第2講	敬語① 敬語の意義 入学前実施学習のフィードバック	
	第3講	敬語② 分類・形式	
	第4講	敬語③ 動詞の敬意表現	
	第5講	敬語④ 名詞の敬意表現	
	第6講	文法① 言葉のきまり	
	第7講	文法② 動詞の可能・使役表現	
	第8講	敬語⑤ 状況に合わせた敬語の使い分け	
	第9講	敬語⑥ 誤った敬語の使い方	
	第10講	文法③ 文のねじれ 陳述の副詞	
	第11講	表記① 現代仮名遣い 送り仮名	
	第12講	語彙① 語と語の関係	
	第13講	漢字① 熟語の構成	
	第14講	総合問題	
	第15講	期末テスト対策	
方法指導	指定テキスト、配布レジュメに沿って解説と問題演習を行う。		
授業外学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について辞書を引き、課題をもって授業に臨むことが必要である。また、事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めていくことができる。		
成績評価方法	本試験(筆記試験)70%、平常点(発表・発言)15%、平常点(授業内課題)15%、計100%で成績評価する。		
テキスト	『ステップアップ日本語講座 中級』(東京書籍)、適宜プリント配布		
参考書籍	『日本語検定公式テキスト「日本語」中級』(東京書籍)		
事項記	第1講でのレベル別テストの結果、クラス(Ⅰ/Ⅱ)を指定する。よって、受講希望者は必ず第1講に出席すること。		